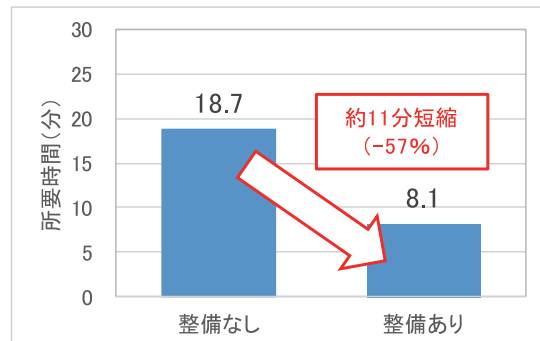


バイパスの整備効果

① 走行時間の短縮

○バイパスの整備により、円滑な走行環境が確保され、走行時間の短縮が期待されます。

【現道（水原バイパス区間）の所要時間】



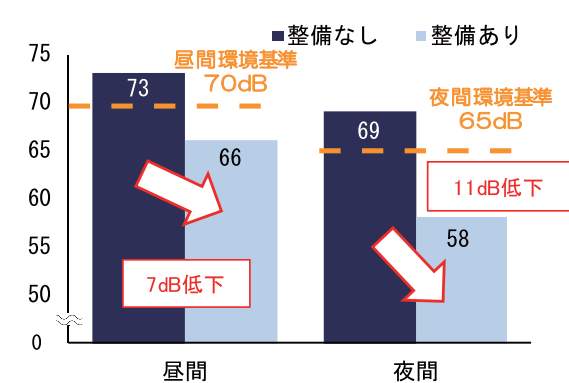
② 交通事故の減少

○バイパスの整備により、現道の通過交通がバイパスに転換し、交通事故の減少が期待されます。

③ 生活環境の改善

○バイパスの整備に伴う通過交通の転換により、沿道地域の騒音低下が期待されます。

【現道の騒音レベル】



主要渋滞箇所の状況

【安野町交差点】



【中央町交差点】



計画の意義

国道49号(福島県いわき市～新潟市)は太平洋側と日本海側を結ぶ主要幹線道路であるとともに、阿賀野市、阿賀町と新潟市との交流を支える道路として重要な役割を果たしています。

しかし、阿賀野市保田から同市中央町1丁目間は19,100台/日の交通量があり、大型車が17.6%を占めている状況にあります。また、現道は阿賀野市の市街地(旧安田町、旧水原町)を通過しているに加え、幅員が狭いことから、交通混雑や交通事故等が発生しています。また、自動車交通による交通騒音等の生活環境に与える影響が問題となっています。

阿賀野バイパスは、これらの問題を解消し安全かつ円滑に交通を処理することによって、阿賀野市の将来の街づくり及び「新潟県東部産業団地」、「総合運動公園」などを支援し、当該地域の発展に寄与するものであります。

事業の概要

阿賀野バイパス		
路線名	一般国道49号 安田バイパス	一般国道49号 水原バイパス
起終点	阿賀野市六野瀬～同市寺社	阿賀野市寺社～同市下黒瀬
延長	5.6km	8.1km
車線数	4車線(完成) 2車線(暫定)	4車線(完成) 2車線(暫定)
幅員	3.5-2.0-7.0-3.0-7.0-2.0-3.5 (28.0m)	高盛土部 2.0-7.0-3.0-7.0-2.0 (21.0m) 低盛土部 3.5-2.0-7.0-3.0-7.0-2.0-3.5 (28.0m)
構造規格	第3種第1級及び第2級	第3種第1級
設計速度	80km/h(第3種第1級)及び60km/h(第3種第2級)	80km/h
事業経緯	昭和63年3月29日 都市計画決定 昭和52年度 事業化 昭和54年度 用地着手 昭和56年度 工事着手 昭和60年11月19日 暫定2車線開通(4.3km) 平成11年度 事業復活 平成11年3月9日 都市計画決定 平成13年度 用地着手 平成14年度 工事着手 平成18年度 暫定2車線開通(1.3km)	平成11年3月9日 都市計画決定 平成12年4月 事業化 平成15年度 用地着手 平成17年度 工事着手

お問い合わせ

国土交通省 北陸地方整備局
新潟国道事務所

〒950-0912 新潟市中央区南笹口2-1-65
TEL:025-244-2159 FAX:025-246-7763
URL <http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/>

令和3年4月作成

にいく 検索

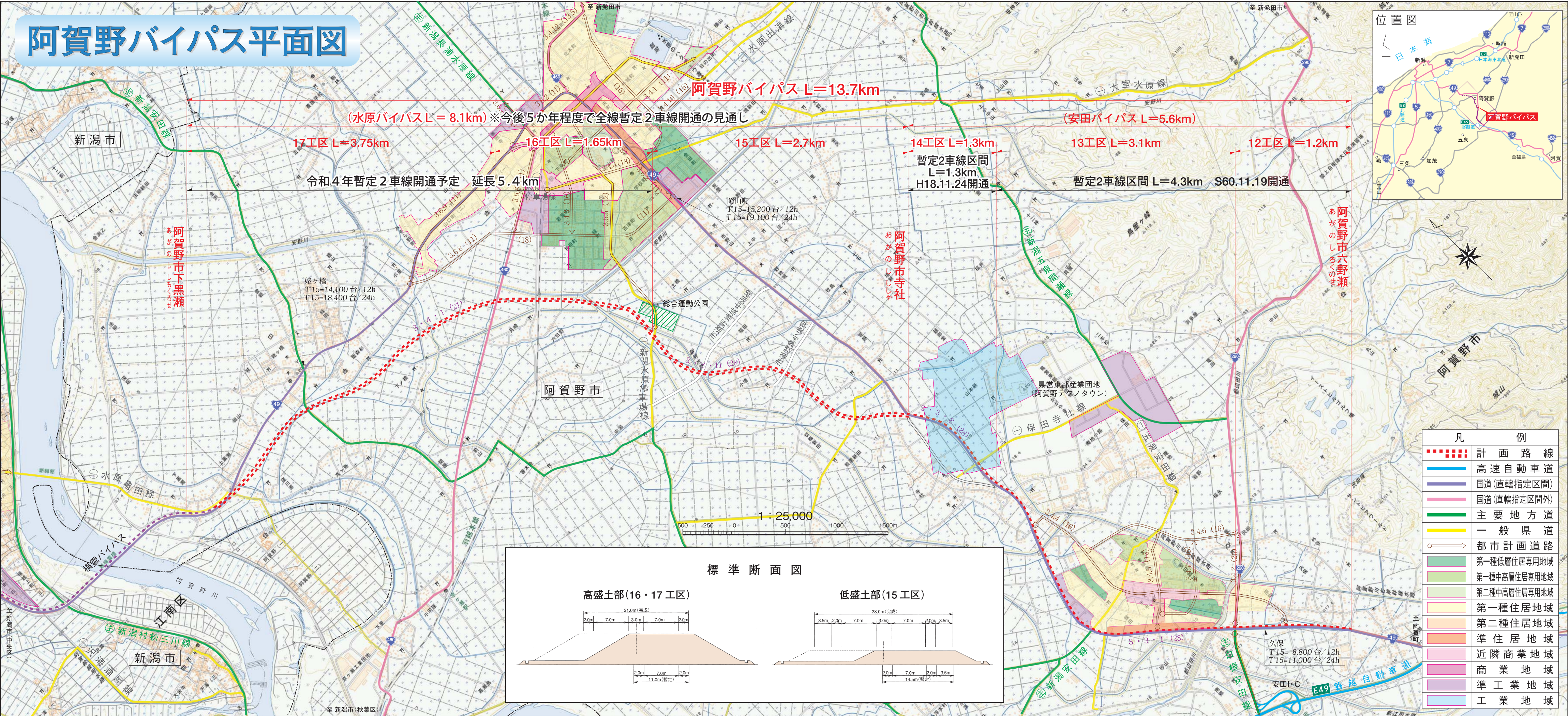


一般国道49号
阿賀野バイパス
あ が の



国土交通省 北陸地方整備局
新潟国道事務所

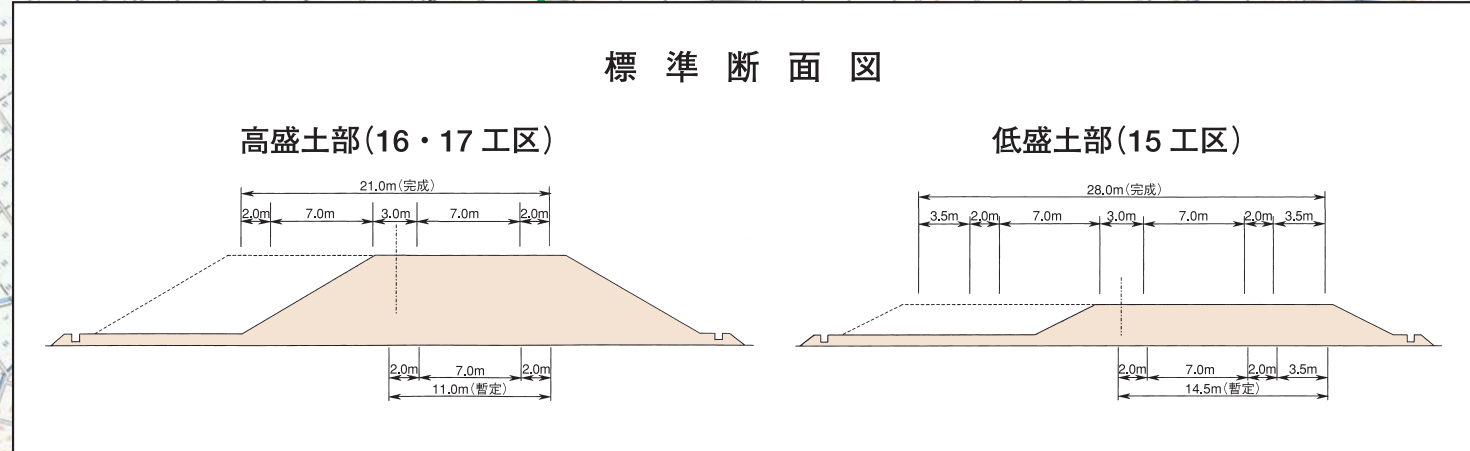
阿賀野バイパス平面図



阿賀野バイパス L=13.7km
 (水原バイパス L=8.1km) ※今後5か年程度で全線暫定2車線開通の見通し
 (安田バイパス L=5.6km)

17工区 L=3.75km 16工区 L=1.65km 15工区 L=2.7km 14工区 L=1.3km 13工区 L=3.1km 12工区 L=1.2km

令和4年暫定2車線開通予定 延長5.4km 暫定2車線区間 L=1.3km H18.11.24開通 暫定2車線区間 L=4.3km S60.11.19開通



凡 例	
- - - - -	計画路線
=	高速自動車道
=	国道(直轄指定区間)
=	国道(直轄指定区間外)
=	主要地方道
=	一般県道
=	都市計画道路
■	第一種低層住居専用地域
■	第一種中高層住居専用地域
■	第二種中高層住居専用地域
■	第一種住居地域
■	第二種住居地域
■	準住居地域
■	近隣商業地域
■	商業地域
■	準工業地域
■	工業地域

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 932 号)